金子元臣著

萬葉集評釋

第三册

明治書院

昭和十五年十月二十八日印刷
昭和十五年十一月三日發行
昭和十八年四月十日三版發行

（出文協承認 あ420477號）

定價㊝金五圓貳拾錢
特別行爲稅相當額 金參拾錢
合計五圓五拾錢

著者 東京市小石川區白山御殿町百十番地 金子元臣

發行者 東京市神田區錦町一丁目十六番地 三樹彰

印刷者 東京市下谷區二長町一番地 山田三郎太

印刷所 東京市下谷區二長町一番地 凸版印刷株式會社 東東一二三

發行所 東京市神田區錦町一丁目 【振替貯金口座東京四九九一番】 明治書院 電話神田(25)二一四七番 二一四八番 二一四九番

配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

（日本出版文化協會會員番號 134008番）

凡例

一、本評釋第三册には萬葉集の卷五、卷六、及び卷七の上を收めた。

一、本書は寛永板本を以て底本とし、更に他の諸本を參訂した。文中に原本とあるは寛永本のことである。

一、本書は、釋、歌意、評の三大綱を以て組織した。

一、釋は、語釋、訓讀、考異とから成立し、評は背景說明と作歌鑑賞とから成立する。但、それは釋及び評の標中に分繫して一々にその目は設けない。

一、釋は、つとめて詳細と精確とを期して、本文及び題詞、左註にあらはれた事實典故を說明し、辭句を解釋した。

一、釋は、歸結の解義を先にし、考異及び論斷を後にした。前賢の說は一々擧げないが、その大醇なものと大疵のものとに限つて殊更に擧げ、その是非を論及した。

一、又本文の記錄文字に就いて深い注意を拂つたことは勿論、音借字の如きも現代發音と異なるものは、一々說明の勞を執つた。

一、歌意は、歌意をそこね調をあやまることを恐れて、逐字譯の方法を採り、一語一字もゆるがせにせず、且省略の字句ある時は、文意を明確にする程度にこれを補足した。

一、評は、嚴正な史實の上に立ち、當時の時代精神、社會風潮及び作者の環境等を考察することを怠らず、さて

眼を鑑賞に轉じて、詩味の如何、格調、修辭の如何等を純然たる歌人の立場から論評した。批評鑑賞は實に前人未踏の處女地で、言々句々新發見の集積でないものはない。然し語義歌意の新解說と共に、一々それを大聲疾呼しない。これが私の先著たる古今集及び枕草子の評釋に共通した方針である。

一、釋、評の既出のものは再掲することを避けた故に、精粗は時に一致せず、又、結論及び論斷ばかりあつて理由の前提を怠つた觀のあるものもあるが、これは學者に最初から秩序だつて通讀されんことを希望したからである。

一、本書の難解なる原因の一は、用語、文法及び省筆法の古代的なること、文字に訛舛、脫漏のあること等にある。因つて、この點を特に明瞭ならしめる爲に心を用ゐた。

一、省筆の箇處を補ふ場合には「何々の略」或は「何々を補ふ」などと明記したが、以上の注意のないものも、。點を字旁に附したのは悉く補足の語である。

一、訓讀に異說ある場合は、本文に採用した訓を除き、他のものには悉く――線を字旁に附した。

一、文字に異同の論のある場合は、その論爭の中心たる字の旁に、卽ち本文に於ては左に、釋文に於ては右に、△印を附して一目瞭然たらしめた。

一、文字の異同の論ぜられる場合、稀に確定的と認められるものは、これに依つて原本を改正したが、尙、字旁に△印を施しておいた。

一、釋及び評の文中に本文を引用することのある場合は、引用された本文の上下に「　」印を附して他の文との

混同を避けた。

一、釋及び評の文中に於て特に注意を要する文字の旁には、◦點を附して見易くした。

一、語釋の既出に屬するものは、なるべくその重複することを避けて、その語の下に既出の頁數を括弧を以て標出した。但、單に既出とのみ記してあるもの、及び語釋の簡單に過ぎてゐるものは、卷尾の索引によつて檢出の上參照することを望む。

一、本文の下に記した亞刺比亞數字は、國歌大觀に從つて歌の順序を示したものである。

一、長文に亙る考證等、釋及び評の文中に敍述し難いものは、「雜考」として、別に本評釋の最後に附揭する心組である。

一、繪畫は、古文學研究上缺くべからざる重要のものであり、且、萬葉の如き廣汎なる範圍を有するものにあつては、地圖及び古蹟、動植物、器具、鑛物等の寫眞も亦、必須のものであることは言を俟たぬところである。この點に深く留意した著者は、多きに過ぎると思はれる程、必要に應じて評釋文中に採用した。就中、古蹟風景の寫眞に至つては、悉く著者みづから實地に踏査し撮影したものであることを一言附記する。

一、概觀的總地圖は、時局柄この第三冊には省略することにした。但部分的小地圖は、卷中各處に必要に應じて分揭した。

一、目次、索引の學者に必須なることは論を俟たない。よつて「初二句歌目次」、「解釋索引」、「評文索引」の三種の表を作成して、卷頭卷尾に分揭した。

一、「初二句歌目次」は、本文の歌の初二句を順序のまゝに掲げその頁數を示した。

一、「解釋索引」は、語釋、本文及び附圖、挿繪等を檢索するに便ならしむる爲である。「評文索引」は、批評文中、特に注意すべき重要なる項目を抽出して、參照に便ならしめた。

一、最後に臨んで、先人に對して附する筈の敬語敬稱を便宜上から省略したことを、玆に深く陳謝する。

一、尚私の萬葉集硏究に關する主義方針由來等に就いては、第一册卷首の「著者のことば」と題する數篇、及びその卷尾の跋文を是非一讀されたい。

昭和十五年十月五日

著者記す

萬葉集評釋 第三册(初二句)目次

巻五

よのなかはむなしきものと……一四〇〇
おほきみのとほのみかどと……一四〇六
いへにゆきていかにかあがせむ……一四〇九
はしきよしかくのみからに……一四一〇
くやしかもかくしらませば……一四一一
いもがみしあふちのはなは……一四一三
おほぬやまきりたちわたる……一四一四
ちちははをみればたふとし……一四一八
ひさかたのあまぢはとほし……一四二五
うりはめばこどもおもほゆ……一四二七
しろがねもこがねもたまも……一四二八
よのなかのすべなきものは……一四三一
ときはなすかくしもがもと……一四四〇
たつのまもいまもえてしが……一四四二
うつつにはあふよしもなし……一四四三
たつのまをあれはもとめむ……一四四四
ただにあはずあらくもおほし……一四四五
いかにあらむひのときにかも……一四四九
こととはぬきにはありとも……一四五〇
かけまくはあやにかしこし……一四五六
あめつちのともにひさしく……一四六〇
むつきたちはるのきたらば……一四六四
うめのはないまさけるごと……一四六六
うめのはなさきたるそののあをやぎは……一四六七
はるさればまづさくやどの……一四六八
よのなかはこひしげしゑや……一四六八
うめのはないまさかりなりおもふどち……一四六九
あをやなぎうめとのはなを……一四七〇
わがそのにうめのはなちる……一四七一
うめのはなちらくはいづく……一四七二
うめのはなちらまくをしみ……一四七二
うめのはなさきたるそののあをやぎを……一四七三
うちなびくはるのやなぎと……一四七四
さるさればこぬれがくりて……一四七四
ひとごとにをりかざしつつ……一四七五
うめのはなさきてちりなば……一四七五
よろづよにとしはきふとも……一四七六
はるさればうべもさきたる……一四七七
うめのはなをりてかざせる……一四七七
としのはにはるのきたらば……一四七八
うめのはないまさかりなりもものとりの……一四七八
はるさらばあはむともひし……一四七九

うめのはなたをりかざして……一四七九
はるのぬになくやうぐひす……一四八〇
うめのはなちりまがひたる……一四八〇
はるののにきりたちわたり……一四八一
はるやなぎかづらにをりつ……一四八二
うぐひすのおときくなべに……一四八三
わがやどのうめのしづえに……一四八三
うめのはなをりかざしつつ……一四八四
いもがへにゆきかもふると……一四八四
うぐひすのまちかてにせし……一四八五
かすみたつながきはるびを……一四八六
わがさかりいたくくだちぬ……一四八七
くもにとぶくすりはむよは……一四八八
のこりたるゆきにまじれる……一四八九
ゆきのいろをうばひてさける…一四九〇
わがやどにさかりにさける……一四九〇
うめのはないめにかたらく……一四九一
あさりするあまのこどもと……一四九五
たましまのこのかはかみに……一四九五
まつらがはかはのせひかり……一四九七
まつらなるたましまがはに……一四九八
とほつひとまつらのかはに……一四九八
わかゆつるまつらのかはの……一四九九
はるさればわぎへのさとの……一五〇〇
まつらがはななせのよどは……一五〇〇
まつらがはかはのせはやみ……一五〇二
ひとみなのみらむまつらの……一五〇三
まつらがはたましまのうらに…一五〇三
おくれゐてながこひせずは……一五〇八
きみをまつまつらのうらの……一五〇九
はろばろにおもほゆるかも……一五一〇
きみがゆきけながくなりぬ……一五一〇
まつらがたさよひめのこが……一五一三
たらしひめかみのみことの……一五一五
ももかしもゆかぬまつらぢ……一五一六
とほつひとまつらさよひめ……一五一八
やまのなといひつげとかも……一五二〇
よろづよにかたりつげとし……一五二一
うなばらのおきゆくふねを……一五二一
ゆくふねをふりとどみかね……一五二二
あまとぶやとりにもがもや……一五二三
ひともねのうらぶれをるに……一五二四
いひつつものちこそしらめ……一五二五
よろづよにいましたまひて……一五二六
あまさかるひなにいつとせ……一五二七
かくのみやいきづきをらむ……一五二九
あがぬしのみたまたまひて……一五二九
おとにききめにはいまだみず…一五三一
くにとほきみちのながてを……一五三二
あさつゆのけやすきわがみ……一五三三
うちひさすみやへのぼると……一五三五
たらちしのははがめみずて……一五三九
つねしらぬみちのながてを……一五三九
いへにありてははがとりみば…一五四一
いでゆきしひをかぞへつつ……一五四一
ひとよにはふたたびみえぬ……一五四二
かぜまじりあめふるよの……一五四四

あめつちはひろしといへど……一五四七
よのなかをうしとやさしと……一五五七
とみびとのいへのこどもの……一五五七
あらたへのぬのぎぬをだに……一五五八
かみよよりいひつてけらく……一五六〇
おほとものみつのまつばら……一五七〇
なにはづにみふねはてぬと……一五七一
たまきはるうちのかぎりは……一五八九
なぐさむるこころはなしに……一五九二
すべもなくくるしくあれば……一五九三
みなわなすもろきいのちも……一五九三
しづたまきかずにもあらぬ……一五九四
よのひとのたふとみねがふ……一五九五
∨わかければみちゆきしらじ……一六〇一
ふせおきてわれはこひのむ……一六〇三

巻六

たぎのへのみふねのやまに……一六一一
としのはにかくもみてしが……一六一五
やまたかみしらゆふばなに……一六一六
かみがらかみがほしからむ……一六一七
みよしぬのあきづのかはの……一六一七
はつせめがつくるゆふばな……一六一九
うまごりあやにともしき……一六二〇
たぎのへのみふねのやまは……一六二二
ちどりなくみよしぬがはの……一六二三
あかねさすひならべなくに……一六二四
やすみししわごおほきみ……一六二五
おきつしまありそのたまも……一六二九
わかのうらにしほみちくれば……一六三〇
あしひきのみやまもさやに……一六三一
よろづよにみともあかめや……一六三三
ひとみなのいのちもわがも……一六三四
やすみししわごおほきみの
　たかしらす……一六三五
みよしぬのきさやまのまの……一六三六
ぬばたまのよのふけぬれば……一六三七
やすみししわごおほきみは……一六三八
あしひきのやまにもぬにも……一六四〇
おしてるなにはのくには……一六四一
あらぬらにさとはあれども……一六四五
あまをとめたなしをぶね……一六四六
いさなとりはまべをきよみ……一六四七
じらなみのちへにきよする……一六四九
あめつちのとほきがごと……一六五〇
あさなぎにかぢのときこゆ……一六五三
なきすみのふなせゆみゆる……一六五四
たまもかるあまをとめども……一六五八
やすみししわがおほきみの
　かむながら……一六五九
おきつなみへつなみやすみ……一六六二
いなみぬのあさぢおしなべ……一六六三
あかしがたしほひのみちを……一六六三
あぢさはふいもがめかれて……一六六五
たまもかるからにのしまに……一六六九
しまがくりわがこぎくれば……一六七〇

かぜふけばなみかたたむと……一六七一
みけむかふあはぢのしまに……一六七三
すまのあまのしほやきぎぬの…一六七四
まくずはふかすがのやまは……一六七六
うめやなぎすぐらくをしみ……一六八二
おほきみのさかひたまふと……一六八四
みわたせばちかきものから……一六八五
からごろもきならのさとの……一六八五
さをしかのなくなるやまを……一六八七
あしたにはうなびにあさりし…一六八八
さすだけのおほみやびとが……一六八九
やすみししわがおほきみの
　をすくには…………………一六九一
いざこどもかしひのかたに……一六九二
ときつかぜふくべくなりぬ……一六九四
ゆきかへりつねにわがみし……一六九五
はやひとのせとのいはほも……一六九六
ゆのはらになくあしたづは……一六九八
おくやまのいはにこけむし……一七〇〇
おほなむぢすくなひこなの……一七〇三
わがせこにこふればくるし……一七〇五
おほならばかもかもせむを……一七〇六
やまとぢはくもがくれたり……一七〇七
やまとぢのきびのこじまを……一七〇九
ますらをとおもへるわれや……一七一〇
しましくもゆきてみてしが……一七一三
さしずみのくるすのをぬの……一七一四
しらくものたつたのやまの……一七一六
ちよろづのいくさなりとも……一七二一
をすくにのとほのみかどに……一七二三
ますらをのゆくとふみちぞ……一七二六
かくしつつあらくをよみぞ……一七二七
なにはがたしほひのなごり……一七二八
ただこえのこのみちにして……一七二九
をとこやもむなしかるべき……一七三〇
わがせこがけるきぬうすし……一七三四
あまごもりみかさのやまを……一七三五
かりたかのたかまとやまを……一七三六
ぬばたまのよぎりのたちて……一七三七
やまのはのささらえをとこ……一七三八
くもがくりゆくへをなみと……一七三九
あめにますつくよみをとこ……一七四〇
はしきやしまぢかきさとの……一七四一
まちかてにわがするつきは……一七四二
はるぐさはのちはうつろふ……一七四三
やきだちのかどうちはなち……一七四四
しげをかにかむさびたちて……一七四六
いはばしりたぎちながるる……一七四六
ふるさとのあすかはあれど……一七四八
つきたちてただみかづきの……一七四九
ふりさけてみかづきみれば……一七五〇
かくしつつあそびのみこそ……一七五一
みたみわれいけるしるしあり…一七五三
すみのえのこはまのしじみ……一七五五
まゆのごとくもるにみゆる……一七五六
ちぬわよりあめぞふりくる……一七五八
こらがあらばふたりきかむを…一七五九

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

ますらをはみかりにたたし……一七六〇
うまのあゆみおさへとどめよ…一七六一
あまをとめたまもとむらし……一七六二
おもほえずきいますきみを……一七六三
やすみししわがおほきみの
めしたまふ……………………一七六五
かみよよりよしぬのみやに……一七六七
こととはぬきすらいもとせ……一七六八
やまのはにいさよふつきの……一七六九
たちばなはみさへはなさへ……一七七一
おくやまのまきのはしぬぎ……一七七四
わがやどのうめさきたりと……一七七六
はるさればををりにををり……一七七七
あらかじめきみきまさむと……一七七九
をとつひもきのふもけふも……一七八〇
たましきてまちますよりは……一七八二
うなばらのとほきわたりを……一七八三
ゆふだたみたむけのやまを……一七八五
しらたまはひとにしらえず……一七八七
いそのかみふるのみことは……一七八九
おほきみのみことかしこみ……一七九一
ちちぎみにわれはまなごぞ……一七九四
おほさきのかみのをはまは……一七九七
ながとなるおきつかりしま……一七九九
おくまへてわれをおもへる……一八〇〇
ももしきのおほみやびとは……一八〇一
たちばなのもとにみちふみ……一八〇二
ますらをがたかまとやまに……一八〇四
かはぐちのぬべにいほりて……一八〇六
いもにこひわがまつばらよ……一八〇八
おくれにしひとをしぬばく……一八〇九
おほきみのいでましのまに……一八一一
みけつくにしまのあまならし…一八一二
いにしへゆひとのいひくる……一八一三
たどがはのたぎをきよみか……一八一六
せきなくばかへりにだにも……一八一八
いまつくるくにのみやこは……一八二〇
ふるさとはとほくもあらず……一八二二
わがせことふたりしをれば……一八二二
ひさかたのあめばふりしけ……一八二三
わがやどのきみまつのきに……一八二五
ひとつまついくよかへぬる……一八二六
たまきはるいのちはしらず……一八二七
くれなゐにふかくしみにし……一八二八
よのなかをつねなきものと……一八二九
いはつぬのまたをちかへり……一八二九
やすみししわがおほきみの
たかしらす……………………一八三〇
たちかはりふるきみやこと……一八三八
なづきにしならのみやこの……一八三九
あきつかみわがおほきみの……一八四〇
みかのはらふたぎのぬべを……一八四五
やまたかくかはのせきよし……一八四六
わがおほきみかみのみことの…一八四六
いつみがはゆくせのみづの……一八四九
ふたぎやまやまなみみれば……一八五〇
をとめらがうみをかくとふ……一八五一

かせのやまこだちをしげみ……一八五二
こまやまになくほととぎす……一八五二
みかのはらくにのみやこは
　やまたかみ……一八五四
みかのはらくにのみやこは
　あれにけり……一八五七
さくはなのいろはかはらず……一八五八
やすみししわがおほきみの
　ありがよふ……一八五九
ありがよふなにはのみやは……一八六二
しほひればあしべにさやぐ……一八六二
やちほこのかみのみよより……一八六四
まそかがみみぬめのうらは……一八六六
はまきよみうらうるはしみ……一八六七

巻七

あめのうみにくものなみたち……一八七三
つねはかつておもはぬものを……一八七五
ますらをのゆずゑふりおこし……一八七五
やまのはにいさよふつきを
　いでむかと……一八七六
あすのよひてらむつくよは……一八七七
たまだれのをすのまとほし……一八七七
かすがやまおしててらせる……一八七八
うなばらのみちとほみかも……一八七九
ももしきのおほみやびとの……一八八〇
ぬばたまのよわたるつきを
　とどめむに……一八八一
このつきのここにきたれば……一八八一
まそかがみてるべきつきを……一八八二
ひさかたのあまてるつきは……一八八三
ぬばたまのよわたるつきを
　おもしろみ……一八八三
みなそこのたまさへきよく……一八八四
しほぐもりすとにかあらむ……一八八四
やまのはにいさよふつきを
　いつとかも……一八八五
いもがあたりわがそでふらむ……一八八五
ゆきかくるとものをひろき……一八八六
あなしがはかはなみたちぬ……一八八七
あしひきのやまがはのせの……一八八九
おほうみにしまもあらなくに……一八八九
わぎもこがあかものすその……一八九〇
とほるべくあめはなふりそ……一八九一
なるかみのおとのみききし……一八九二
みもろのそのやまなみに……一八九三
わがころもいろにしめなむ……一八九五
みもろつくみわやまみれば……一八九五
いにしへのことはしらぬを……一八九七
わがせこをいでこせやまと……一八九七
きぢにこそいもやまありといへ……一八九八
かたをかのこのむかつをに……一八九九
まきむくのあなしのかはゆ……一九〇〇
ぬばたまのよるさりくれば……一九〇一
おほきみのみかさのやまの……一九〇一
いましきはみめやとおもひし……一九〇二

うまなめてみよしぬがはを……一九〇三
おとにききめにはまだみぬ……一九〇四
かはづなくきよきかはらを……一九〇五
はつせがはしらゆふばなに……一九〇五
はつせがはながるるみをの……一九〇六
さひのくまひのくまがはの……一九〇七
ゆだねまくあらきのをたを……一九〇八
いにしへもかくききつつや……一九一〇
はねかづらいまするいもを……一九一一
このをかはきりぞむすべる……一九一二
わがひもをいもがてもちて……一九一三
いもがひもゆふやかふちを……一九一四
ぬばたまのわがくろかみに……一九一五
しまみすといそにみしはな……一九一六
いにしへにありけむひとも……一九一七
ゆくかはのすぎにしひとの……一九一八
みよしぬのあをねがたけの……一九一九
いもがりとわがゆくみちの……一九二〇
やまのまにわたるあきさの……一九二二
さほがはのきよきかはらに……一九二二
さほがはにさばしるちどり……一九二二
きよきせにちどりつまよび……一九二三
としつきもいまだへなくに……一九二四
おちたぎつはしるのみづの……一九二五
あしびなすさかえしきみが……一九二六
こととればなげきさきだつ……一九二七
かむさぶるいはねこごしき……一九二八
みなひとのこふるみよしぬ……一九二九
いめのわだことにしありけり……一九二九
すめろぎのかみのみやびと……一九三〇
よしぬがはいはとかしはと……一九三一
うぢがははよどせなからし……一九三二
うぢがはにおふるすがもを……一九三三
うぢひとのみつぎのあじろ……一九三四
うぢがはをふねわたせをと……一九三五
ちはやびとうぢかはなみを……一九三六
しながどりるなぬをくれば……一九三七
むこのかはみをはやみかも……一九三八
いのちをさきくあらむと……一九四〇
さよふけてほりえこぐなる……一九四一
くやしくもみちぬるしほか……一九四三
いもがためかひをひろふと……一九四四
めづらしきひとをわぎへに……一九四四
いとまあらばひろひにゆかむ……一九四五
うまなめてけふわがみつる……一九四五
すみのえにゆくとふみちに……一九四六
すみのえのきしにいへもが……一九四七
おほとものみつのはまべを……一九四七
かぢのおとぞほのかにすなる……一九四八
すみのえのなこのはまべに……一九四八
あめはふるかりほはつくる……一九四九
なこのうみのあさけのなごり……一九四九
すみのえのとほさとをぬの……一九五〇
ときつかぜふかまくしらず……一九五一
すみのえのおきつしらなみ……一九五二
すみのえのきしのまつがね……一九五二
なにはがたしほひにたちて……一九五三

いへさかりたびにしあれば……一九五四
まとかたのみなとのすどり……一九五四
あゆちがたしほひにけらし……一九五五
しほひればそのかたにいでて…一九五五
ゆふなぎにあさりするたづ……一九五六
いにしへにありけむひとの……一九五六
あさりすといそにわがみし……一九五七
けふもかもおきつたまもは……一九五七
あふみのみみなとはやそぢ……一九五八
ささなみのなみくらやまに……一九五九
おほみふねはててさもらふ……一九六〇
いづくにかふなのりしけむ……一九六二
ひだびとのまきながすとふ……一九六三
あられふりかしまのさきを……一九六四
あしがらのはこねとびこえ……一九六五
なつそひきうなかみがたの……一九六七
わかさなるみかたのうみの……一九六九
いなみぬはゆきすぎぬらし……一九七〇
いへにしてわれはこひむな……一九七一
ありそこすなみをかしこみ……一九七二
あさがすみやまずたなびく……一九七二
あまをぶねほかもはれると……一九七三
まさきくてまたかへりみむ……一九七三
とりじものうみにうきゐて……一九七四
あさなぎにまかぢこぎいでて…一九七五
あさりするあまをとめらが……一九七五
あびきするあまとやみらむ……一九七六
やまこえてとほつのはまの……一九七七
おほうみにあらしなふきそ……一九七八
ふねはててかしふりたてて……一九七九
いもがかどいでいりのがはの…一九七九
しろたへにほふまつちの……一九八一
せのやまにただにむかへる……一九八二
きのくにのさひかのうらに……一九八三
あさごろもきればなつかし……一九八四
つともがとこはばとらせむ……一九八五
てにとりしからにわするると……一九八五
あさりすといそにすむたづ……一九八六
もかりぶねおきこぎくらし……一九八七
わがふねはおきゆなさかり……一九八七
おほうみのみなそことよみ……一九八八
ありそゆもましておもへや……一九八九
いそのうへにつまぎをりたき…一九九〇
はまきよみいそにわがをれば…一九九一
おきつかぢしましくなこぎ……一九九一
おきつなみへつもまきもち……一九九二
あはしまにこぎわたらむと……一九九二
いもにこひわがこえゆけば……一九九三
ひとならばははのまなごぞ……一九九四
わぎもこにわがこひゆけば……一九九四
いもがあたりいまぞわがゆく…一九九五
あてすぎていとかのやまの……一九九五
なぐさやまことにしありけり…一九九七
あたへゆくをすてのやまの……一九九八
たまづしまよくみていませ……一九九九
しほみたばいかにせむとか……二〇〇〇
たまづしまみてしよけくも……二〇〇一

くろうしのみくれなるにほふ…二〇〇一
わかのうらにしらなみたちて…二〇〇三
いもがためたまをひろふと……二〇〇三
わがふねにかぢをばなひき……二〇〇五
たまづしまみれどもあかず……二〇〇五
わたのそこおきこぐふねを……二〇〇六
おほはやまかすみたなびき……二〇〇六
さよふけてとなかのかたに……二〇〇七
みわのさきありそもみえず……二〇〇八
いそにたちおきへをみれば……二〇〇八
かざはやのみほのうらわを……二〇〇九
わがふねはあかしのうらに……二〇一〇
ちはやぶるかねのみさきを……二〇一一
あまぎらひひかたふくらし……二〇一二
おほうみのなみはかしこし……二〇一三
をとめらがおるはたのへを……二〇一四
しほはやみいそわにをれば……二〇一五
なみたかしいかにかぢとり……二〇一六
いめにのみつぎてみゆるに……二〇一七

しづけくもきしにはなみは……二〇一八
たかしまのあどかはなみは……二〇一八
おほうみのいそもとゆすり……二〇二〇
たまくしげみもろとやまを……二〇二〇
ぬばたまのくろかみやまを……二〇二一
あしひきのやまゆきくらし……二〇二二
みわたせばちかきさとわを……二〇二三
をとめらがはなりのかみを……二〇二四
しかのあまのつりふねのつな…二〇二五
しかのあまのしほやくけぶり…二〇二六
おほなむちすくなみかみの……二〇二七
わぎもことみつつしぬばむ……二〇二七
きみがためうきぬのいけの……二〇二八
いもがためすがのみつみに……二〇三〇

圖版目錄

天治本萬葉集……口繪
萬葉集類林……口繪
三五七 太宰府附近(地圖)……一三九八
三五八 都府樓址(後方ハ大城ノ山)……一三九九
三五九 釋尊說法(因果經)……一四〇二
三六〇 維摩經(天平寫經)……一四〇三
三六一 枕……一四〇九
三六二 楝の花……一四一三
三六三 沓……一四二〇
三六四 仙人……一四二一
三六五 上古の戶籍……一四二三
三六六 手玉及び頸玉(埴輪)……一四三三
三六七 女人像……一四三三
三六八 みな(蜷)……一四三四
三六九 馬及び鞍(埴輪)……一四三五
三七〇 書簡樣式……一四四三
三七一 天平筆(右) 新羅墨(左)……一四四六
三七二 和琴……一四四七
三七三 深江と子負の原(地圖)……一四五四
三七四 子負の丘と社……一四五四
三七五 太宰府故圖……一四六二
三七六 都府樓古瓦……一四六四
三七七 頭挿、蘰……一四六九
三七八 松浦灣附近(地圖)……一四九二
三七九 玉島川(右ノ高邱ハ古祠)……一四九六
三八〇 古市(東市)と八島(地圖)……一五一一
三八一 松浦灣を隔てゝ領布振山を望む(山下ハ虹ノ松原)……一五一三
三八二 松浦潟全景……一五二三
三八三 死者は屋外……一五三七
三八四 肩衣……一五四五
三八五 賤者の服裝……一五四八
三八六 甑……一五四九
三八七 墨繩……一五六二
三八八 五島列島より松浦灣……一五六四
三八九 五部淨……一六〇三
三九〇 秋津川(宮瀧ノ下流)……一六一八
三九一 和歌の浦附近(地圖)……一六二六
三九二 和歌の浦全景(繪圖)……一六二六
三九三 和歌の浦干潟……一六三〇
三九四 楸……一六三七
三九五 豐崎と味生(地圖)……一六四二
三九六 江井島附近(地圖)……一六五五
三九七 名寸隅(江井島)……一六五六
三九八 しび……一六六〇
三九九 明石の港……一六六四
四〇〇 室津と辛荷島(地圖)……一六六六
四〇一 辛荷島(室津鴨山ヨリ)……一六六六
四〇二 白樺……一六六七
四〇三 津田附近(地圖)……一六七二
四〇四 五木……一六七七
四〇五 打毬……一六八三

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com